



KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

Rotary-Club



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度
テーマ

- 国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」
- 地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. “ラビ”ラビンドラン
 R.I. 2720 地区 ガバナー 野田三郎
 熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル TEL096-326-3311
 ■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2015年10月19日】

第1192回
 2015-2016年度 第12回
 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「奉仕の理想」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

来訪者なし

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

最近では熊本でも地元の個人の店、肉屋、魚屋、八百屋といった生活に不可欠なお店は少なくなり、大きな資本の他県の店が進出して来ています。こういう店は安く、多くの品物を扱うので便利で、皆そこに引きつけられて、地元に着るべき金を持って行かれてしまいます。私は買物や食事も他県から来たチェーン店には行かず、必ず地元の店ですますことにしています。少し高くても、少しまわずくても、地元で金がまわると思うからです。

江戸時代に、鈴木しょうさん(正三)という禅僧が居りました。元は徳川家康、秀忠に仕えた武士ですが、出家して僧となりました。その説法を記録した「驢鞍橋(ろあんきょう)」に「ある人が云った。この前、行脚の時、師はわざわざ悪い宿に泊られた。同

料金なら悪い方をやめようと言ったら、師は云われた。同じ金を出すのであれば、人様のためになるようにすべきぞ。いい宿は誰もが泊るから、人の泊らぬ悪い宿に泊ってやれば、それだけ人助けになる。自分は少し不自由をするが、それもたった一夜ぞ。そう云ってその後もますます悪い宿に泊られた」変人といわれた正三ですが、こういった奉仕もあるのではないのでしょうか。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関係)
 ①「由布岳交流登山」のご案内
 (R I 第2720地区ローターアクトより)
 ロータリアンとローターアクターと一緒に活動する機会を増やすには、先ずお互いが交流をする機会を作ろうという考えより「由布岳交流登山」を企画されました。多数の御参加をお待ち致します。
 日時：平成27年10月31日(土)
 8:30集合(由布岳登山口)
 スケジュール：9:00～開会式
 9:20～15:00 登山(途中昼食あり)
 15:00～閉会式
 参加費：1,000円(弁当あり)
 500円(弁当なし)
 登録締切：10月23日(金)迄



- 10/26 地区米山記念奨学会副委員会 坂口滋一 氏(熊本中央R.C.)
- 11/2 米山奨学生卓話 張翹丞(チアウアウ)さん(国籍：中国)熊本学園大学・商学部4年
- 11/9 ★熊本北R.C.との合同例会
「松井家の歴史と文化財」八代神宮 宮司 松井葵之 氏
- 11/16 熊本第3グループガバナー補佐 倉田榮喜 氏

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばしません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本平成RC】

10月21日(水)の例会は、平成4RC合同例会のため、10月31日(土) 18:30より、メルパルク熊本にて行います。

【熊本中央RC】

10月23日(金)の例会は、チャリティゴルフコンペのため、同日7:45よりグランドチャンピオンゴルフクラブにて例会及び開会式を行います。

【熊本北RC】

11月12日(木)の例会は、熊本グリーンRCとの合同例会のため、11月9日(月) 18:30よりホテルキャッスルにて行います。

【熊本東南RC】

11月18日(水)の例会は、和歌山東名RC歓迎例会のため、11月17日(火) 18:30より、「瑞恵」にて行います。

慶 事

「会員増強賞」表彰

大友利行会長

会員増強賞(女性会員を多く入会させた事で)表彰状を頂きました。



出席報告

(葉高源 会員)

		会 員 総 数	22名	出席率
10月29日	出席免除会員数	2名		70.00%
	計算上会員数	20名		
	出席会員数	14名		
10月5日	前回の出席会員数	16名		80.95%
	メイクアップ数	1名		
	修正出席会員数	17名		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先				
・10/15 熊本北RC 中島(三)君				

		会 員 総 数		出席率
10月12日	出席免除会員数			休会
	計算上会員数			
	出席会員数			
9月28日	前回の出席会員数	16名		85.71%
	メイクアップ数	2名		
	修正出席会員数	18名		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先				
・10/13 地区社会・国際奉仕セミナー 河野君				
・10/6 熊本西RC 仙波君				

委員会報告

①「ロータリーの友10月号」内容紹介

報告者：本田悟士 クラブ広報委員長

②第4回親睦ゴルフ会の案内

報告者：河島 一夫 ゴルフ部キャプテン

次回の第4回親睦ゴルフ会は、12月15日(火)を予定しておりましたが、時期が遅すぎるとのご意見により11月17日(火)に日程を変更致します。又、その夜はゴルフ会の忘年会を「もっとも」で開催致します。ゴルフ会々員はもとより、ゴルフをされない方も奮ってご参加をお待ちしております。



スマイル (上田 観一会員)

- 大友 利行 君、荒木 一之 君
「今夜の伊津野先生の「混合医療」の卓話楽しみにしています。宜しくお願い致します。」
- 伊津野良治 君
「ああなたは私の誕生日御祝いのスマイルはしてやんなはったでしょうね、と大分前に言われました。したと思うばってんね」と心細く答えました。今日は胸をはって帰れます。有難うございます。」
- 本田 悟士 君
「伊津野先生の卓話にスマイルします。又、私がロータリーに入るきっかけともなった長男・都真が明日で7才になります。出席率は恥ずかしいですが、7年も続いていると思うと感慨深いものがあります。皆様を追い越すことは出来ませんが、自分と競争して続けていきたいと思ひます。」
- 河野 景治 君
①「本日は伊津野先生に卓話を賜りありがとうございます。感謝のスマイルを申し上げます。」
②「前回の例会では誕生祝いを頂きありがとうございました。」
- 中島三千代 君
「前回お休みしてしまいました。すみませんでしたのスマイルです。」
- 上田 観一 君、田中 純司 君、葉 高原 君、栗山 義則 君
「伊津野先生の卓話楽しみにしていました。本日宜しくお願い致します。」

3. 例会プログラム

「混合診療」 熊本グリーンロータリークラブ 伊津野良治



私達が現在使っている医療保険システムは社会保険や国民保険などのいわゆる健康保険である。保険であるから当然のこと、提供される実際の医療は一定の限度が設定されており、無制限ではない。通常言われる保険の範囲ではあるが、日本の現状では特に困ることはなく万人に等しく医療は十分に提供されているといえる。

それでも容姿に係わる特段の医療行為など、例えば歯科の金歯やプラチナ使用、あるいはインプラントなどになどは、特別の料金を払っても、いわゆる良い治療をしたいということなる。これは保険適応外の料金となり、全額を支払うことになる。これを自費診療と言っている。基本となる医療行為を健康保険でまかない、上乘せの部分を自己負担することを混合診療と呼んでおり、前記のように歯科診療などでは日常的に行われている。

これに対し、内科や外科の一般診療では、原則混合診療は認められておらず、受診者はその日の診療費を3割負担などの健康保険とするか、全額自費とするか一方しか選べない仕組みになっている。前記の金歯の例からすると何か不合理にみえる。勿論例外はあって、現在日本で承認されていない外国の抗がん剤や、きわめて新しく効果のありそうな手術などは、将来保険に取り入れるテスト的な意味もあり、例外的に混合診療が認められており、先進医療と呼ばれている。

一見合理的な混合診療が原則認められない理由は、以下のようなものである。

混合診療にして、受診者が自分好みの治療を選択するのは力量に応じて許されるにしても、きわめて高価になったり、長期に特別料金が重なったりしたら払い切れるだろうか、心臓の手術など1000万円になることも珍しいことではない。

そのことよりもお金で診療が左右されるとなると「誰でもいつでも、平等に充分の医療を受けられる」と言う日本の健康保険の根本が揺らいでしまう。それほどお金持ちなら保険を煩わさないで自分で始末して下さい、となっているとも言える。さらに誰でも安心して医療費を支払えるよう、窓口3割の自己負担に対しても上限を設け、1ヶ月約8万円以上は払い戻されることになっている。もっとも年収1000万以上となると大分負担が増えはする。いずれにしても長期の病気でも簡単に破産しないように種々のガードがされているのである。

ところで、最近有名になったアメリカ型皆保険のオバマケアを見てみよう。

アメリカの医療保険は基本的に民間保険であり、国民の労働者の比較的低收入層は保険料が払えず数千万人が無保険であった。最貧困層は日本の生活保護者同様、全額公費（国が半分、州が半分）で医療を受けられ「メディケア」と呼ばれている。一方高齢者には「メディケイド」という補助金などある保険制度があり、あるていど保護されているが、中間の一般勤労者の低所得者層が補助もなく、保険にも入れず苦しんでいた。これを全員加入義務のある皆保険制度にしたのがオバマケアである。記載によると当初これまで医療保険がなくて困っていた人達は、涙して喜んだとある。しかし、ふたを開けてみると民間保険がアメリカでは基本なので、多数の保険契約のバリエーションがあり、低い保険料では少ない診療内容とかで、会社は利益を確保していた。しかしオバマケアの皆保険では、たとえ病気があっても契約を拒んではならないとか、支払いの上限を設けてはならないといった、これまでにない不利な条件の人々を含むことになり、これを拒否できないことになった。

つまり、より収入の低い人達のみで保険料をみんなで負担する形になり、これまで、それなりの保険を持っていた人達は、当然保険料は2倍にもなり、一方支払われる診療の内容は免責額の増加など、今まで以上に厳しく制限され、特に高価な薬剤などは保険適応外となるなど、これまでの保険内容より程度が下がる事になった。そのため折角の保険も保険証が絵に描いた餅になってしまい医療を受けられず、大学の教官といえども非正規の講師クラスでは自己破産して、貧困層対象の「メディケア」を受けるべきかと考えられている。

つまり不利な条件をのまされた保険会社はその費用を上乗せした形で事業を構成し、それまで契約のなかった無保険者層の全部を規約者にする事が出来ることで、事業収益を確保している。

また薬品会社は2%の値引きと引き替えに、オバマの公約を破棄できて、今後の薬価を公的でなく自由に設定出来ることとした。どんな高い薬でも販売できることになり、今後充分すぎる利益が確保できることになった。

この二つの事例のように、寡占化された世界では、競争原理が働かず、自分たちの利益が十分確保できる値段を設定出来るわけで、日本の電力会社のやり方によく似ている。以上のように、アメリカの保険は少し重大な病気をすれば一家路頭に迷うことになる可能性を秘めているといえる。現在我々が、空気か水のように思っている日本の国民皆保険制度がある事で、どれほど安心して暮らせる仕組みになっているか、考え直す時期に来ているといえる。経済特区での医療とか、ホールディングカンパニー型の営利会社の医療への参入とか、きな臭い話が昨今多くなって来ている。

特に心配なのは、今回のTPP 妥結で、医療や保険制度が、アメリカなみになったりすることである。虎視眈々と狙っている外国資本から、現行制度を守るのは国でも、医師会でも無く、明日は患者さんになるかも知れない我々国民であり、一人一人が、しっかり守って行き、育てていく決心をする以外に方法はないのである。